

小 学 校 中 学 年	テーマ	あいさつの大切さ		
	ねらい	あいさつ等の言葉かけをきっかけとして、心がつながることの気持ちよさに気づく。		
	指導のポイント	事前	学習・体験	事後
	<p>【感動の体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイングなどをおして、あいさつなどの言葉による対面的な交流が心をつないでいくことを実感させる。 <p>【感性を育む】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつや会話をとおして、自分と他者とのつながりを感じとらせる。 ・心が分かり合えた気持ちよさに気づかせる。 <p>【想像力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションをおして、心が分かり合えることの大切さに気づかせる。 ・いろいろな人と分かり合うためには、自分の気持ちを表現することが大切であることに気づかせる。 	<p>【先生の準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ありがとう」「ごめんなさい」について教員の体験や考えをまとめておく。 ・子どもの家庭環境等を把握し、事前事後の個別指導を充実させる。 ・家庭や地域との連携の上、学習や体験内容に配慮する。 <p>【教育課程上の位置づけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳 ・総合的な学習の時間 <p>【子どもたちの準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が人に親切にしたり、人から親切にされたときの体験を思い出す。 ・「ありがとう」「ごめんなさい」はどんなときに使ったのか考える。 <p>【家庭・地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域にも意識をしてあいさつや言葉かけをしてもらうよう依頼する。 	<p>「あいさつすると気持ちいい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心を通わせ合うきっかけとなるあいさつの大切さを知る。 ・ロールプレイングをすることで、相手の立場に立った適切なコミュニケーションを考える。 <p>「心の架け橋」となる言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が人に親切にしたとき、人から親切にされたときの体験を作文に記す。 ・「ありがとう」「ごめんなさい」はどんなときに使ったのか一日を振り返って、日記として記す。 ・「行ってきます」「行ってらっしゃい」等の言葉かけについて考える。 ・「いいところみつけ」をして、友だちにいいところを伝える。 <p>『心のノート』の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人とともに生きよう」 	<p>【子どもたちの予想される心の動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほめてもらってうれしかったな。 ・大きな声であいさつしたら、きもちよかったよ。 ・勇気を出して「ごめんなさい」を言ったら、仲直りできたよ。 ・「だいじょうぶ？」って声をかけたら、「ありがとう」って言ってくれた。うれしかったよ。 ・仲良くなったよ。 <p>【振り返りカードへの記入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習・体験の後に、子どもたちに自分の心の動きを振り返らせ、振り返りカードに記入させる。 <p>【日常生活での実践・家庭との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習や体験後の子どもたちの感想、保護者の思いを通信で連絡する。 ・家族新聞を親子で作ってみる。 ・心の様子をうつす日記を親子で記入する。(親子交換日記) ・家庭の中であいさつのルールをつくる。 <p>【先生の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの大切さに気づかせることができたか。 ・心が分かり合えた気持ちよさに気づかせることができたか。 ・自分の気持ちを表現することの大切さに気づかせることができたか。